

当院におけるピロリ菌の受診者

(2020 年 3 月～2021 年 2 月)

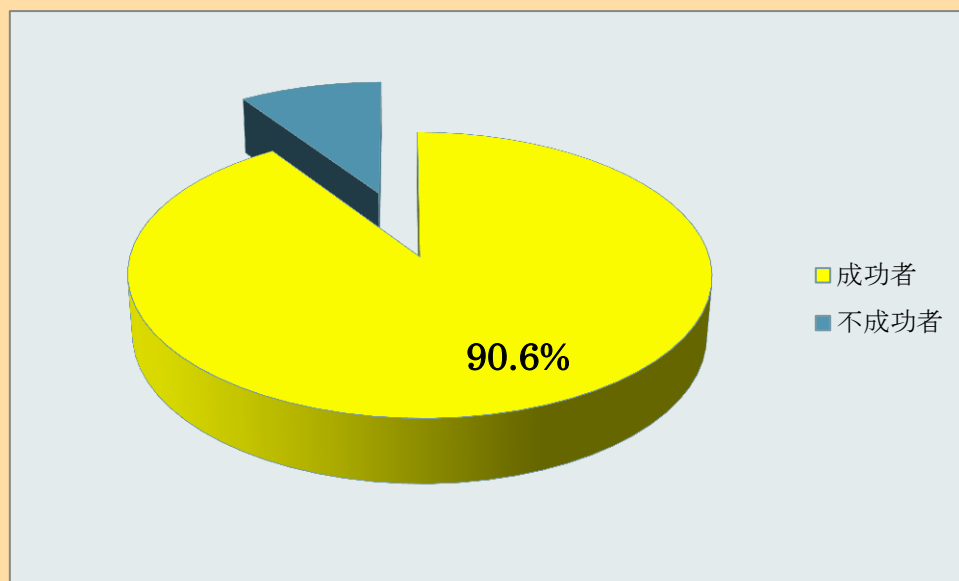
はじめに

当院では、2011 年よりヘリコバクター・ピロリ菌外来を開設して、今年で 10 年が経過した。開設時はヘリコバクター・ピロリ感染胃炎の保険適応はなく、自費診療で行うことが多かったが、2013 年より保険適応が拡大され、多くの方に除菌療法を行いやすくなった。その後は、一次除菌率の低下が問題であったが、酸関連疾患治療剤であるボノプラザンが承認されてからは、一次除菌率は急激に上昇した。2020 年 3 月から 2021 年 2 月までの受診者の集計と一次除菌率を求め、その推移をおった。

一次除菌者数 : 139 名 (男性 56 名、女性 83 名、年齢 21～84 歳)

除菌成功者数 : 126 名

除菌不成功者数 : 13 名



97.8%の患者さんにボノプラザンが使用されていた。

一次除菌率は 90.6%と高い除菌率が維持されていた。

下痢や蕁麻疹などの副作用の頻度は、これまで同様に低かった。

明らかな除菌率の低下なく、ボノプラザンによって高い除菌率が維持されていた。

日本ヘリコバクター学会認定医 桂田純二郎